

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会		会議場所 第2委員会室 担当職員 池永
日 時	平成31年3月25日(月曜日)	開 議	午前 10 時 30 分
		閉 議	午前 10 時 53 分
出席委員	◎小川、○奥野、田中、赤坂、藤本、竹田、菱田		
出席理事者			
出席事務局	池永主任		
傍聴者	市民0名	報道関係者0名	議員0名

## 会 議 の 概 要

10 : 30

### 1 開議

(小川委員長あいさつ)

### 2 委員長報告の確認

(小川委員長 委員長報告朗読)

<小川委員長>

この内容でよいか。<了>

### 3 議会だより原稿の確認

<小川委員長>

各自で目を通していただきたい。

<小川委員長>

この内容でよいか。<了>

10 : 37

### 4 行政視察について

<小川委員長>

日程案を示しているが、意見は。

[日程調整]

<小川委員長>

では、5月第4週で調整する。候補地についてはどうか。

<奥野副委員長>

岐阜県・長野県、もしくは静岡県・神奈川県を組み合わせるかどうか。大分県や北海道、宮崎県は組み合わせが難しいのではないかと。

<小川委員長>

例えば大分県を選んだとしても、周辺で所管に関連するところを探すこともできる。

<藤本委員>

都城市は会派の視察で行かれていたのではないかと。

<竹田委員>

会派の視察で行った。ふるさと納税で産地のものをPRして取り組まれている。

<小川委員長>

あまりふるさと納税に特化すると総務文教の所管となる。

<竹田委員>

ふるさと納税について3つ挙がっている。この中で特筆すべきことがあるのであれば行ってもよいが、そうでないのであれば奥野副委員長の案としてはどうか。

<藤本委員>

雲南市と浜田市を組み合わせることもできる。浜田市は、人口は5万人程度であるが、ふるさと納税は過去3年程ずっと10億円以上をキープしている。どのようなやり方でどのような産業を興しているのかを調べても参考になるのではないか。

<奥野副委員長>

飛騨市や佐久市はどうか。市独自の取り組みではなく、楽天やイオンと連携しており、そのようなものを巻き込んで観光やまちの発展を考えることは今後の課題だと考える。

<小川委員長>

豊後高田市の取り組みもよいのではないか。

<竹田委員>

これを見るという具体的なものがないと観光地のようにになってしまう。ふるさと納税でも、この産業が活発だから見に行きたいという明確なものを持たねばならない。これらの項目は委員から出た意見なのか。それとも事務局等が探したもののなのか。委員が出した意見なのであれば、これを主眼としたということを順番に発表してはどうか。

<小川委員長>

事務局から説明を。

<事務局主任>

1・2・6は正副委員長と事務局で調整したものである。3・4は、被災した木材の活用という菱田委員の意見を踏まえ抽出したものである。5は、産業からの視点での農福連携の取り組み事例という竹田委員の意見を踏まえ、事務局で抽出したものである。7は委員長から、8～10は藤本委員から具体的に提案があったものである。

<赤坂委員>

奥野副委員長の意見と同じである。これから、産業・観光のことで、立地した企業と連携したり、いろいろなところと手を結んで取り組んでいかねばならないことがある。ウッドスタート事業も魅力的ではあるが、観光の取り組みの方がよい。いろいろな取り組みをしっかりと見て、亀岡で導入できるものは導入したい。飛騨市・高山市と佐久市でどうか。佐久市も行ける距離なのではないか。

<田中委員>

できるだけ移動距離は短い方がよい。山陰か岐阜県のどちらかでどうか。

<菱田委員>

産業の取り組みばかりなので、建設関係の取り組みも1つ入れていただきたい。

<小川委員長>

では、観光の取り組みとし、建設の取り組みもあれば入れたい。長野県と岐阜県、行ければ小田原市か浜松市を入れられたらと考える。再度調整して案を示すこととする。

## 5 次回月例について

<小川委員長>

4月の月例の日程調整を行う。

[日程調整]

<小川委員長>

今回は4月26日10時からとする。内容は上下水道部の行政報告と、行政視察の事前調査等とする。

～散会 10:53